第3回 THE GATE 「最終選考」結果発表!!

最終選考作品12作の中から、各賞が決定!!

賞金100万円
モーニング&Dモーニング今号に掲載!

『YOUR BOOK』
好村美咲
よしむら みさき 東京都/24歳

あらすじ
環境汚染により人類滅亡が迫る西暦2200年。天才的な頭脳で、人類救済のため新薬の研究をしている兄は、弟を研究所に呼び出す。そこにいた、楽しそうに遊ぶ子供たちは皆、兄のクローンだった——。

こんな困難に立ち向かうなんて
物語の主人公みたいでワクワクするじゃないか!

作家コメント ここのコメントを書く妄想を100回くらいしました。こんなに立派な賞を頂けてとても嬉しいです! 慢心せずに次に繋がるよう励みます!

担当コメント 「天才がいる!」と編集部で散々騒いでいたので、大賞を取ってくれてホッとしました。それはさておき、この巨大な才能にふさわしい第一歩が刻めたことを嬉しく思います。「好村美咲」、この名前は覚えておいて損はないはず。

一色まこと氏
アイディアもスケールも今回の中では頭一つ出ていたように思います。次の展開が読めない面白さが最後まであった。天才&ヒールの兄のキャラが秀逸で、独特かつ奥行きのある世界観も光っていた。気になったのは弟のキャラのブレ…というより弱さ。「何かが間違ってるぞ」と読者を代弁できる存在、感情移入できる存在だっただけにもったいなかった。天才だが非道の兄に「NO」を突き付ける気持ちよさを一緒に味わうところまで行けたら、もっと読後感の良さに繋がったかもしれません。

ツジトモ氏
天才というキャラクターや、作品が持つ世界観など、挑戦的な作風でしたが、内容もわかりやすく、スッと入ってきました。発想もストーリーもいいし、作家性を強く感じます。ただ、天才的な兄というキャラクターは愛着を持って描かれているのに、弟の方はキャラクターの掘り下げがもう一歩という感じがします。また、読んでいて明るくなれる話ではないのが、少し残念ではあります。作者は、壮大なテーマを持って描ける方のように感じたので、今後が非常に楽しみです!

事務局長
こんなにも人生はつらく、世界は汚れているのに人はなぜ生きなければいけないのか? 誰もがいつか直面するテーマを見事にエンターテインメントにした。成功の要因は天才の兄とヒロインのキャラクターだ。好村さんは、今回の応募の中で最も「ヒーロー」を描こうとした。だから大賞です。おめでとう。ありがとう。絵が少し記号的です。90ページ読ませ、単行本を買ってもらうために、もっと美しさといかがわしさと個性を。心が壊れているのは兄なのか、弟なのか、そして人はなぜ…。第3回大賞『YOUR BOOK』。これは今この文章を読んでいる、まさにあなたのための物語。ぜひご一読を。

一色まこと賞

CONGRATS!

『宝くじが当たったら、母が家を出て行った。』

神波アユミ

かんなみ あゆみ
東京都／40歳

賞金60万円
モーニング＆Dモーニング
43号に掲載！
（9月21日発売）

作家コメント
このような賞を頂けてとても光栄です。ありがとうございました。漫画を描いているときは息抜きに三線を弾いています。死ぬほどうまいのに誰にもお聞かせできないのが残念です。

担当コメント
物語の佳境で、父と息子それぞれの本音が出てくるシーンが非常に魅力的でした。今後は物語としての新しさ、エンタメ性をさらに高めていけるように頑張りましょう!

あらすじ
労働を拒絶する息子と、労働を謳歌する親父。二人は6億円の当たりクジと共に姿を消した母を捜す旅に出る。旅の果てに見つけたのは、6億円か、お母さんか、それとももっと大事な何か？

一色まこと氏
割とありがちなネタを、これだけ面白く読ませることができるのは、キャラに力があることと、表現できるだけの画力があるからでしょう。憎たらしい息子とその父のキャラクターがいい。ラストに出てくる母も、この家族を成り立たせている器をちゃんと感じるキャラでした。登場人物はこの3人＋猫だけ（笑）。残念だったのは、タイトルがネタバレになっているせいで、結構なページ数まで、読んでいる時のワクワク感が薄れてしまったこと。漫画では、読者を笑わせたり泣かせたりドキッとさせる…たった1コマのために、それまで何ページも描くことがあります。それがキチンと描けてる方なので少しもったいなかった。

ツジトモ賞

CONGRATS!

飲酒が根本的な解決につながる事はありませんよ
そしてそれは……

『RUNNER! 鈴原ユキトのRUN…』

紺乃ユウキ

こんの ゆうき 東京都／38歳

賞金60万円
モーニング＆Dモーニング
45号に掲載！
（10月6日発売）

ツジトモ氏
この作品を読むと、走りたくなってきます！こういった作品は、読んだ人が走りたくなったら成功だと思うんです。個人的には、飲み屋のシーンの華やかな絵が、すごく好きでした。重要なシーンではないですが、登場人物が生きている感じが伝わってきます。ただ、登場人物のセリフに違和感を覚えたところが少なからずありました。もう少しキャラクターに寄り添ってストーリー作りができれば、より良くなったのではと思います。

作家コメント
ありがとうございます！素晴らしい賞が頂けて大変感謝しております。今後も皆様のお目にかかれることを目標に精進していきたく思っております。ヨロシクお願いいたします。

担当コメント
「おいしそう」とか「痛そう」とか、身体感覚を絵で呼び起こすのはとても重要だと思います。本作品は読むと思わず走りたくなってしまうほど、「走る気持ちよさ」を丁寧に描いています。作者の描写力に感嘆しました。

あらすじ
35歳サラリーマン・鈴原ユキトは健康診断で医師から「この生活を続けると10年以内に死ぬ」と告げられる。体質改善のために走り始めるも、日々の生活には誘惑が…。前途多難な市民ランナー物語！

土産を…
土産を探してんだ
なにがいいかってな

賞金50万円

モーニング・ツー11号（9月21日発売）&Dモーニング43号（9月21日配信）に掲載！

『ウミウサギ』川島徹也

かわしま てつや　栃木県／20歳

あらすじ
大学生の真穂は、大好きだった祖父の葬式で涙が出なかったことにショックを受けていた。ところが、そんな彼女の前に死んだはずの祖父が現れて……。

作家コメント 今回の受賞大変うれしく思います。今まで支えてくださった方々に感謝します。今後も自分の表現したいものを作品にしていければ幸せです。

担当コメント 独特の雰囲気と絵柄で、読み進めていくうちに静かに心に染み入ってくるようなすばらしい作品です。その特性を大事にしつつ、いろいろな方向性の作品をどんどん描いていっていただきたいです。

モーニング・ツー チーフ 寺山 セリフ運びやシーンの作り方が、とても上手です。18ページという短いページ数で、祖父の死から生命の尊さを知った主人公の心情が、よく表現できていました。絵も丁寧に描かれていて読みやすいです。ただ、主に人物の線の引き方が、全体的に単調なのが気になりました。もっと絵に感情を乗せられるようになると、一層読者の心に響く作品が描けるようになると思います。

奨励賞 CONGRATS!

賞金10万円 Dモーニング45号より順次掲載！（10月6日配信）

『見えない月』元鞘
（もとさや・東京都／23歳）

担当コメント：妊婦の心情をリアルに描いた元鞘さんですが、ご自身も最近出産を経験。受賞と出産、Wでおめでとうございます！

『好きなひと』犬印日好
（いぬじるし ひより 群馬県／21歳）

担当コメント：「少女」が「女性」に変わる瞬間を切り取る筆力が見事。さらなる画力アップで掲載を目指しましょう！

『モノノケソウルフード』神崎タタミ
（かんざき たたみ 大阪府／26歳）

担当コメント：食×バンドの新感覚漫画！とにかく食べ物が美味しそうだし、キャラの配置も絶妙です。

『Dance』藤庸太郎
（ふじ ようたろう 島根県／22歳）

担当コメント：短いページ数の中に、作者なりの世界観を感じさせる要素が散りばめられているため、物語の世界の広さを感じました。

『おとろし』灘優貴
（なだ ゆうき 東京都／23歳）

担当コメント：第1回から毎回応募し、3度目にして初受賞。並大抵の努力ではないと思います。本当におめでとうございます！

『ラブは裏切る、ラブソングは裏切らない』暖ネムル
（だん ねむる 三重県／24歳）

担当コメント：モーニングゼロに引き続き、THE GATEでも賞を獲ることができてよかったです！これからも一緒に頑張って行きましょう！

『理想のダーリン』卍福ぽんた
（まんぷく ぽんた 大阪府／30歳）

担当コメント：ページをめくる度に出てくる驚き、笑い…センスの塊です。多くの人に愛されるギャグ漫画描きになれるはず！

『河童と仙人とみつちさま』アンギャマン
（あんぎゃまん 鳥取県／33歳）

担当コメント：かわいらしい河童と仙人、対するみつちさまの迫力のギャップが、単なる癒し系ではない凄みを生み出しています。

第4回 THE GATE に向けて

一色まこと氏

今回も難しく、そして楽しい審査でした。ここからどんな才能を発掘できるだろうと、毎回ワクワクしておりましたが、いよいよ**次回は私が審査に参加するラストになります。**なので、今迷ってる人は頑張って描いて応募してください。**アドバイスがあるとすれば『いかにいい作品を描くかより、どれだけ心を込めたか』**です。これは彼のマザー・テレサの受け売りですが(笑)、私もこの言葉に何度も助けられました。**無様な作品になってもいいです。体裁を整えた作品より、心を込めた作品の方が、いつだって人の心に響いたりしますから。**頑張ってみてください。

ツジトモ氏

次回は「元気」とか「勢い」を感じられる作品を読めたらなと思います。今回の応募で目立ったのは、ネガティヴ思考の主人公が最後には少し前向きになる…みたいなお話だったんですが、**そういう作品ってなかなか登場人物を好きになりづらいんですよね。物語としてもスタート地点に立ったところで終わってる印象**で…。身近な世界だけで完結するのではなくて、そこにもう少し自分の憧れや理想を入れて膨らませた物語を描いてみた方が、より多くの人を楽しませられる作品になるかもしれません。**とか言いつつ、暗いお話であっても作品にパワーがあれば大歓迎です。**自ら限界を設けずに頑張ってください。

事務局長

強調したいのは、今回の第3回「THE GATE」の漫画作品の応募数が**60本**だったということ。少ない！そして**そのうち4本が紙の雑誌に載り、8本が電子雑誌に載ります。新規に担当がついたのは20人以上です。世の中にこんなにオイシイ新人漫画賞があるでしょうか。モーニングは新人作家の新連載を増やしたいと思っています。どうぞいらっしゃいませ。**次回へのリクエストは、両審査員のおっしゃる通りです。憧れに満ち、泥臭くても熱い作品を待望しています。この漫画が自分の「人生で描く最後の作品」と、そんなふうに思って構想、執筆すれば、両先生のリクエストが満たしやすくなるかもしれませんね。

受賞者たちに続け!!

第4回 THE GATE 絶賛募集中!!

締め切りは 11月30日(水) 当日消印有効

募集要項など詳細はコチラ http://morning.moae.jp/ > 新人賞 > THE GATE

第３回THE GATE大賞受賞作

物語は、なぜ存在するのか。芸術は、世界を救えるのか。

YOUR BOOK

ユアブック

好村美咲（よしむらみさき）

兄さん
ああなんだ
もう来てたのか

さっき着いた

そうか

ここの感想は?

うーん
まだ全然見れてないけど
想像以上にすごい
豪華な施設だね ここ

危機が迫る人類を救うべく、天才が出した答えとは。人間の可能性を問う衝撃作。

それに！焚書以前のポルノ雑誌のほうが今よりずっと進んでるんだよ！

すごっ

すごいんだよ！旧時代の文明は！

……

でもこの前ここの金を勝手に使ってたのがバレて研究所の責任者から降ろされそうになってさ

あれは本当に焦った

当然だよそれは…

まっ

素行が悪くても俺以上に優秀な人間なんて他にいないからね

減給だけだった！

ふーん…

うわっ

今日も灰が降ってんのか

ほんとだ
でも この研究所ドームで覆われてるから 別に何ともないんでしょ？
そーだけど
灰の降ってる景色ってどうも嫌いなんだよな陰気くさくて
そう？
僕は好きだけど
ちょっと雪に似てて気持ちが落ち着くかも
本物の雪は見たことないし
……………
2200年
地球は危機的状況に陥っていた

資源は枯渇

伝染病が蔓延

加えて天災の数々…

以前から予測はされていたが誰にも止めることは出来ず
ほとんどの人々が悲惨な人生を歩み
最近は絶望して自らの命を絶っていくケースが後を絶たなかった

でも
僕らの家は

金持ちだった

ごく一部の富裕層しか
行けないような
「学校」にまで
行かせてもらっていた

兄は

その中でも
いや 人類の中でも
特に秀でた頭脳の
持ち主だった

天才的な頭脳で
飛び級して
大学まで行き

非凡なその才能は
伝染病のワクチン作り
のために使われ

研究所に入った
数年後には
新薬を開発

酒と女が大好きで名誉欲が無駄に強い根っからのクズのくせに
上っ面が良いせいか誰からも愛され
父からの信頼も厚く
僕がいくら望んでも手に入らないものをすべて持っていた

お兄ちゃん

でも僕はそんな兄が大好きでべったりだった

もう行っちゃうの?

まだ全然遊んでないよ

ああ

母さんの墓前にはもう行って来たからね

次に帰ってくるまでいい子にしてるんだぞ また遊んでやるからさ

だって
もう父さんの仕事の勉強したくないよ遊べないし先生も怖いし…
いいよね兄さんは
優秀で頭が良くて父さんやみんなから信頼されててさ
僕なんて父さんから全然相手にされないし
いっしょに遊ぶ友達もいないしお兄ちゃんだけだよこうやって僕とお話ししてくれるのは
能力があって優秀で
僕なんかにも優しくてお兄ちゃんは僕の唯一の自慢だよ
………そんなことないさ

お前だって
俺の自慢の
弟で

かけがえのない
大切な家族だよ

！

ほんと⁉

ああ

っ

次はいつ
帰ってくるの？

うーん

2週間後
くらいかな

兄さんは
しょっちゅう嘘をつく
それも悪びれずに
約束をしても
守ってくれたことなんて
片手で数えるほどしかない

もしもしー？オレだよオレオレ！

10年後

大丈夫！俺が父さんに話を通しとくからさ！
うーん…
とういくなくて
じゃっそんなリクくこっちで手配しておくから早めに来いよな！
あっちょっと
よろしく!!
ガチャッ
ツー
ツー
ええーっ…
切りやがった…
結局あっさりと話が通ったらしく僕は兄さんのもとへ行くことになった
父さんはいつも兄さんには甘い
なんか行くの嫌になってきた

さっき通ったのが本校舎

ここが中庭

あそこにあるのが俺の温室

そこから先が研究所

あっちが校庭
遊具はまだ手配中

あの
え？
新薬の開発してるんじゃなかったっけ？
何で生徒がいて遊具まで買おうとしてんの
そうか具体的な研究内容は
機密情報だし話してなかったね
あれが新薬だよ
？
は？
この人何言ってるんだろう…
……
あれはねぇ

17

大体3年くらい
もつかなぁ
3年のあいだに
ここで人生において
有益な経験を積んで
死んだ彼らの
記憶を「薬」として
使うんだよ

ははっ
何言ってんだよ
俺は天才だから
何でも作れんの
にしたって
いくら何でも
無理でしょ
どう作るの？
え
マジで？
それ聞いちゃう？
すごいねお前…
いやどうしてもって
言うなら教えても
いいけど…
そんな残酷な性格
してたんだね すごいわ
ないわ〜
ウワー
………いや
やっぱいいよ…
まぁ
とにかく
人間って
いうのはさ
物理的なもの
だけじゃ生きて
いけないんだ
ここ10年間で
伝染病や貧困で
行き詰まって
自殺者数がグンと
増えたのが社会問題に
なってるだろう？
うん
旧時代での最終戦争で
大地と空と海が汚染されて
深刻な環境悪化で
ただでさえヒトが生きるのには
やばい状態だったのに
このまま行くと
そっちより先に
自殺が原因で
人類が滅亡することに
なりかねない

それでヒントにしたのがこれ!

ゴソ

ゴソ

じゃーん!

KING LEAR

SHAKESPEARE

?

リア王?

うーん そう だけど違うかな これもたしかに面白いし興味深いけど

俺が参考にしたのは

KING LEAR

本って存在そのものだよ

本が？
そう

今は文学ってものはだいぶ廃れてしまっているけど
旧時代には本以外にも多種多様の音楽とか美術とかっていった文化が溢れ返っていた

それらには作った人間の魂のようなものが込められていて
鑑賞する側はそれらを楽しんで心を潤していたんだ

ふーん そうらしいね
それで？本が薬とどう関係すんの

さっきも言ったけど人間ってのは運動して食べて寝てっていう
物理的なものだけでは生きていけないんだ

つらいことや悲しいことがあってもいつかは立ち直れるような
人の愛や信念といった精神的な支柱も本当の意味で生きていく上では不可欠なんだ

既存の精神安定剤を新薬に作り替えるって手もあったんだけど
あれの効力は永久的なものじゃないんだ けっこう高価だしね

そこで本の登場だ
今じゃ本の文化なんてほとんど失われてしまっているけど
これは本当に素晴らしいものでね
この中では時を越えても今なお物語というものが生まれたばかりの輝きを保ったまま存在している
俺たちは物語に出てくる登場人物の身を借りて異世界へと旅立ち
自己や他人
人生の輝き
その意味
人の愚かさ
素晴らしさ
森羅万象のありとあらゆる出来事を
本を通じて疑似体験することが出来るんだ
それで
俺が開発して今も研究してるのが
あの子たちの豊かな感性を含んだ人生の記憶を
半永久的な効果を持つ精神安定剤に作り替えることができるシステムだよ

あの子達は俺の創った「本」なんだ

僕はクローンを
健やかに育てるための
この「学校」の

一時的な
事務を任された

子ども達は
みんな快活で
可愛くて

感受性も高く
たしかに頭の良さは
兄譲りだった

そして驚くことに
自分がクローンで
３年後にはこの世から
いなくなることを
理解し受け入れていた

こんな
返事ばかり
だった

一人を
除いて

ジェイソン
カニングハム
あと
マチルダ
アンナ
クローディア
ポール

コーディリア
には？
もう
会った？

うーん
まだだわ
どんな子？

あの子
はねー
問題児だよ

3年前に
試験的に
作った子で
クローンの中では
最年長なんだけど
けっこう困った子でね
1年前なんかは
俺の研究室を
燃やされそうに
なったたし

この前も
俺の厳選に厳選を重ねた秘蔵のポルノ雑誌コレクションを全部燃やしやがったし

無駄に手先が器用で俺のクローンだからか頭も相当良くて
鍵は何度も何度も破ってくるし

俺の顔認証だけ無効になるようにデータをいじくられたし

俺が酔っぱらってふざけて全裸になった時の写真も全部バラまかれたし…
アレが1番精神的にキたわ…
色々されてんね…

女の子なんだけど制服も決まったヤツを着てくれなくてまぁそれは別にいいんだけど
どうもルールとか決まり事ってのが嫌いみたいでね

珍しいね他の子達は皆あんなに良い子にしてるのに

うーん
コーディリアはねー

テストタイプだからか調整が甘かったみたいで

反抗的かつ知能も運動能力もやたらと高くなっちゃってね

困るんだよね～

何度も脱走しようとするから 鍵は全部電子錠に替えるはめになっちゃったし

予算が…

ハァ～

それでも簡単な仕組みのやつは破っちゃうんだけど

はぁー
広っ…
しかし
金があるとはいえ
よくこんなに
集めたな…
家に1冊
あるだけでも
珍しい時代なのに
ねえ
ちょっと
そこの

あなた

あのバカの
弟なんだって？

……そうだけど…

ふーん

君が
コーディリア？

そーだよ
もう私の
悪評は聞いてる
でしょ？

あー
色々と
やらかしてる
みたいだね
兄さんが
参ってたよ

あのクソ野郎が
ここと私達を
作った張本人
だからね
ムカつくから
嫌がらせしてんの！

はは…
キツそうな
子だなぁ…
図書室によく
いるって
聞いたんだけど
君も兄さんと
いっしょで
本が好きなの？

ちょっとさー
あいつと
一緒にすんの
やめてくんない
す
すみません

まぁ
好きだけどね

本は私達と
似てるの

！
ちょっと待って
今そっち行くから
えっ あー
大丈夫だよ
挨拶しに来ただけ…
ぴょんっ
よっ
だから…

びっくりした?

私の名前はコーディリア

試験的に作られたクローン1号

好きなものは本とスコーン

あとあなたのお兄さんへの嫌がらせ

少しだけ調べさせてもらったけどあいつと比べたら全然まともそうだし
私と仲良くさせてあげるっ

短い間だけど
これからよろしくね

瞳が

兄そっくりだった
あ…

えっと
よ
よろしく…

ぎゅ

ふふっ

チッ

!?
舌打ち…!?

ウザい!!

今
「兄さんとちょっと似てるなぁ」とか思ったでしょ

ガーン
!
ええっ

いやそのちょっとは思ったけど

ごめん…？

困るんだよね～

あんなゴミみたいな男といっしょにされちゃ

たしかに私を作ったのは奴だし

あいつのＤＮＡが元になってるけど

少なくとも私はこんな狂ったアホな研究なんてしようと思わないし

倫理観も道徳観も何もかもあのバカより全然まともだもん

ていうかそもそも私のほうが有能だし？美形だし？どう見てもあいつより数段上だよね

……

しかも人造人間だから

身体能力だって誰より優れてるように作られてるし ていうかそーゆー話以前に

あんなひどい人間として最低の性格の奴といっしょにされるのが本当に屈辱的

そういえば兄さんも昔からこうだったなぁ…
やっぱ俺より優秀な人間とかこの世にいないよね！
ハッハッハッ
学校の連中はみんな無能だ
ヤレヤレ
でもみんな俺のこと慕ってくれるから困っちゃうよな
ねーちょっと聞いてる？
「短い間だけどこれからよろしくね」
…あれ？
そういえばまだ僕の滞在期間がどのくらいになるか兄さんからは聞かされてないんだけど
何か言ってた？
私達が何のために作られたかはもう説明された？
うん
薬のためだって
ん――ん！何も！
？
じゃあなんで？
じゃあもう聞かされてるはずだよね
？

寿命のことだよ
私もう先月で
3歳になったの

兄は

まるで知らないような顔をして難しい本や書類と向き合っていた

僕と遊んでくれる時の優しい兄が跡形もなく消え去ってしまったかのように思えてたからだ

第3回THE GATE大賞受賞作

YOUR BOOK（ユア ブック）

好村美咲

主人公は
ずっと昔の
とある国のお姫様

とても美しくて
とても聡明な人

彼女は奇麗な
ドレスを着て

美しいお城に
住んでいたの

第3回THE GATE大賞受賞作　YOUR BOOK（ユアブック）　好村美咲

でも
お姫様はそんな生活が嫌でした

嫌で嫌でたまらなかったの

彼女は城から
抜け出して
最後には僻遠の
何もない荒涼とした
土地に行き着いて 苦労
しながらも畑を耕して
そこに生涯
住み着くんだけど

それでも
すごく

42

すごく
幸せそうなの

えーっ
俺に
似てる？
でも
あれは
失敗作だよ

失敗作？
そうかなぁ
だって普通に
良い子だし
すごい聡明だよ

ちっちっちっ
分かってないな
弟よ だから
失敗作なんだよ
はぁ？

あの子は
たしかに
かなり賢こいよ
だけどその分
反抗的な面も
持ち合わせてる

だから他の子達は
従順になるように
改良したんだ

言っただろ？
あの子達は
命は持ってるけど
結局はただの薬
なんだから
他人のために死んで
人類の糧になることを
受け入れてもらわなくては
困るんだ

や〜
調整に
苦労したよ
賢こすぎてもダメだし
逆に感受性が乏しく
なったら薬として
機能しないからね

でもまぁ
よっこいしょ
なんとか形になってよかったよ
良い子達が出来上がった
きゃー
あははははは
俺の自慢の子達だよ
……!

カチッ
あれ？ ドア 開いてる？
？
ピーッ
兄さん？
いるの？
ガチャッ
？
うわっ

もったいな…

ロックが三重くらい
掛かってたのに
よく入れたね

全部
私が入って
これないように
するための
ものだけどね

ラクショー
だった!

ちょろい

そういや
兄さんは?

あー毎週
この時間には絶対
温室にいるよ だから
今日この日を
狙ったの

じゃーん!
あのバカ
外階段に繋がる
カードキー
忘れていってる
えっ…
うーん
それは
やめといた
ほうが…
……
1回だけ
ここを出れた
ことがあるの
すぐに
捕まったし
外が汚染されてるのは
知ってたけど
想像以上に寂しくて
悲しい風景だった
でも
死ぬ前に
もう一度だけ
またここを出て
あの感覚を
味わいたいな
って思うの
出た瞬間に
冷たい空気で
肺が満たされて
手は動かすのが
つらいくらい
冷えてしまって
辺りは薄暗くて
ひどい臭いだった
でも
あの時だけ
自分の意志で
地面に立ってる
感じがした

私は今度こそ

この配役を降りるよ

あ…

俺の自慢の子達だよ

降りる…？
役を…？

絶対
だめだよ
父さんと
兄さんの
言う通りに
しなくちゃ

言う通りに
してないと
嫌われるよ

嫌われる
嫌われる
ちょっと
大丈夫？
あっ
ごっごめん
何でもないよ大丈夫
…いやその
ちょっと混乱しちゃって…
はは…
………
「父さん」って？何で？
僕
兄さんと違って何も取り柄がなくて
兄さんは長男だけど政府の仕事で父さんの会社を継ぐのは無理で
父さんは僕には兄さんみたいに活躍することは期待してなかったみたいだけど
だから何も持ってない僕が唯一出来ることが父さんの会社を継ぐことぐらいで…

僕は やりたい事も 何もないし
会社を継ぐ人間を 父さんが必要と してるなら 僕が一番の適役で
父さんに とって
僕は 跡取り以外の 存在価値は ないんだ
……
あー…
何ていうか 色々とある だろうし
私には何も 言えないけど
あわわ
もうすぐで あいつが温室から 帰ってくる頃だし
もし よかったら
少しだけ いっしょに 出てみない？

きっと
大丈夫だよ！
ぎゅっ
ねっ？
………
ほらっ
早く行こう！
ぐいっ

第3回THE GATE大賞受賞作 YOUR BOOK 好村美咲

実はね
ここだけの話
彼女が弟を
連れてここを
出ようとするのは
最初から分かって
いたんだ
あとで説明するけど
弟はこのために
この場に呼び出したん
だからね

俺はあの子達の人生の記憶 魂と言ってもいいものを使って精神安定剤に作り替え
その薬によって世界の自殺者数を減らして経済回りを良くしたい なーんて言ったけど
あれはただの建て前で
政府が言ってることであって俺が薬を作ってる個人的な理由は別にあるんだ

さて！

コーディリアや他の子供のように人の「役に立つ」ためだけに生まれて死ぬことが運命付けられ 人生が悲しい結末で幕を閉じることがあるのと同様に

物語だって必ずしもハッピーエンドとは限らない

物語は
誰のためでもない

物語自身のために
存在するんだ

まぁ
物語のためにあるとは言ったけど
キュポッ
登場人物が居なくちゃ物語は物語として成立しない
しかし彼らは
キュ〜〜
あらすじやプロットがすでに決まっていても
コトッ
出来る限りの範囲でレールの上から外れようと闘わなければならない
何でかって？
そうしないと物語は始まらないし面白くならないからだ
この世界の中でどんなに小さな存在であっても
戦いに敗れ運命が変わらなかったとしても
彼らが動かなければ物語は良い方向へは進んでくれず何も変化しない

世界は変えようとしなくちゃ何も変わらないし物語はどこへも転がり始めない

そして誰かが都合よく変えてなんてくれはしないんだから自分の力で変え創っていくしかない

世界(物語)の支配に屈してはいけない

負けちゃダメなんだ

さっき
冒頭辺りのページで
俺たちが生きる
この世界は
文学や
音楽
美術
あらゆる「芸術」
ってもんが
だいぶ廃れてるって
言っただろ？

俺個人としては
この世界の人間たちは 昔のように美しい夢を描く力がまだ残ってると思うんだ
しかし今のこの状況では夢なんて見ようと思ってもなかなか見れたもんじゃない
破壊的な灰と悪夢がこの世界を覆って
皆は途方に暮れ孤独や絶望を抱え込んで死ぬのを待ちながら生きている
ガタ
おかげさまで自殺者は増加する一方だし悪循環だ
だからこそ

人間の心には
生きるための
何か暖かな輝きや
信念のようなものが
指針として常にないと
いけないし

俺は昔のように
美しい夢を追うような
強く逞しい人類に満ちた
世界の中に生きたいんだ

というわけで

これから
待ちに待った
新薬の試用を
始めようと思う

弟も とある目的のために 無意識に広義の意味での物語を幼い頃から作っていた

自己を保つための物語だ

物心つく前に母親が亡くなり多忙で子育てに無関心な父親には全く構ってもらえず

唯一の話し相手は年の離れた兄が1人だけ

だけど兄は家には滅多に帰ってこない

何故なら弟のことなんて何とも思ってないし研究のほうが大切だったからだ

非凡な兄に対してひどく劣等感を抱き

「凡庸な自分に出来ることは言うことを聞いて言われた通りに動くことだけだ」と思い込み

生き方を自ら修正していく内に幼い頃から中身は空っぽ

何も魅力のない人間が出来上がってしまった

中身のない弟は誰かの気を引いて自身の存在意義を見出したくて
無意識に物語を作った
「父さんは僕のことを愛してはいないみたいだけど、
兄さんは僕を弟として家族として必要としてくれている」
という物語だ
そしてもちろん僕の中の登場人物は俺だ
俺は面白半分で弟に与えられた役を演じたわけだが―
いやぁ~
あれは
駄作だし惨めだった

俺はこの独り言のシーンの後に弟の心臓を破壊しようと思っている

ガチャ

きっと楽しいよ

何度見ても
ひどい
光景だ…
コーディリアは
こんな所より
中にいたほうが
よっぽど
安全だし快適
なんじゃ…
ねえ
外って
奇麗だね
やっぱり
死ぬならここで
死にたい

コー…
……
だめだよぉ
出たら

お話が終わっちゃうじゃないか
それに
君の役目はこれじゃない
これでは真の救いは得られない
!
ドサッ
痛っ
コーディリア・
あのさぁ お前
何で
逃げようとしてんの止めないの・
ガチャ
お前は
俺の
弟だろ?・

兄弟ってのは

互いに信頼して
グッ
協力し合うものだろ？

お前は
…っ

俺の大事な作品を台なしにしようとしてんのか？

お前
ほんっと使えないよなぁ
小さい頃から何も持ってなくて
兄さ…
俺は心底ウンザリしてたけどさぁ
こんな奴でも一応血の繋がった弟だから優しくしてやってたんだよ
俺はなぁお前の茶番に付き合わされんのはもう飽き飽きなんだわ
昔っからお前のことなんてこれっぽっちも愛してなかったよ

え

兄弟のよしみで付き合ってやってたけど俺にとってお前の存在価値なんてゼロに等しいんだよ

お前だって本当は気付いてただろ？
これがただのお芝居で茶番だって
俺はなぁ

もうお前の「お兄ちゃん役」なんてまっぴらなんだよ

嫌わないで
お兄ちゃんをやめないで
ごめんなさい
ごめんなさい
嫌わないで
ごめんなさい
嫌わないで
お兄ちゃんをやめないで
嫌わないで
……
ごめんなさい

嫌わないで
嫌わないで

コーディリア
わかった？

なにが…

何って
君の役目だよ

……
薬のこと？

そう
君らにはこういう奴の心を治す役割があるんだ

見ろよこの無様な姿
死ぬほど滑稽で惨めじゃないか？
こうやって自分に価値を見出せず苦しんでる奴らが世界にはごまんといるんだ

君にはそんな人間を救える力があるんだ

この男は
俺の存在が唯一の生きる理由だったみたいだけど
それももう終わりだ

肉体は生きていても心は死んでるからもう生きてる意味がないんだ
だからおそらくこいつは近いうちに自分で自分の命を断つと思うよ

誰にも心から必要とされず
最終的には二度も死ぬことになるんだ
かわいそうだよねぇ

父さんと兄さんの言う通りにしなくちゃ
僕は兄さんと違って取り柄が何もなくて
だから唯一僕に出来ることが父さんの会社を継ぐことぐらいで…
僕は父さんにとって跡取り以外の存在価値はないんだ
会社を継ぐ人間を父さんが必要としてるなら僕が適役で
やりたいことも何もないし

わかった

私
薬になるよ
でも
1つだけ
条件がある

兄は記憶を
移植すると
言っていたが
違った

これは
心だ

彼女の心だ

あの場所からずっと
出たいと願っていた
あの子の魂だ

父さん

何の用だ

……

あのさ

僕
父さんの跡は継がないから

や〜 よかったですね！成功して！
さすが所長！
ウン ウン

といってもなぁ… 辞めた後 消息を絶っちゃったから 今どこに居るか 分かんないんだよね
事後経過のデータもほしかったんだけど…

第3回THE GATE大賞受賞作
YOUR BOOK
好村美咲
いやいや
ここは喜びま
しょうよ！
そうですよ
データは
充分取れたじゃ
ないですか！
たしかに弟さんは
心配ですけど！
我々の今までの
苦労が報われた
んですよ！
うーん
そーなん
だけどねぇ
なんか
何というか
つまらん…
お
おい！
大変だ！
何
どしたの？
あ…
所長…！
研究所
が…！

実は先ほど
弟さんがいらして…
兄さんにはもう伝えてあるので
どうぞおかまいなく
って…

はァ!?
どうすんのよ!
子供も全員連れ出されちゃったし!
ううっ
どう責任とるんだよお前!

あ――っざけんなよクソッ
どんだけ苦労したと思ってんだよ!
ふっ
くくく…

ははっ
はははは
所長…？
…………
はははは
あはあはっ

あの
所長…
笑ってる場合じゃ…

ええ？
だって
すごいじゃないか
これは

いやまさか
燃やされるとはね…
予想外だったよ
委員会にどう
報告したものか…
困ったなぁ…ふふっ

だとしても
そんなニヤニヤ
しないで下さいよ…
あーあ
データもほとんど
消えちゃってますよ
これは…
また振り出しに
戻ることに
なるんですね…

大丈夫！
またすぐに作れるよ！
俺たちは彼らから充分ギフトをもらったんだ
次こそちゃんと読者に届けないとね！

こんな困難に立ち向かうなんて
物語の主人公みたいでワクワクするじゃないか！

この作品の感想をお待ちしています。
好村美咲氏の次回作にご期待下さい。